

# 事業概要

令和7（2025）年5月

川崎市公文書館

# 目 次

<b>I 施設等の概要</b>	1
1 設置目的	1
2 事業	1
3 組織	1
4 施設	1
5 開設経過	1
6 機能	2
7 保存文書数	2
8 書庫収蔵状況	3
9 平面図	4
<b>II 業務の概要</b>	5
1 利用状況	5
2 レファレンス利用状況	5
3 公文書等収蔵状況	6
4 歴史・文化普及事業	7
5 展示	7
6 館外展示	8
7 現用公文書の引継ぎ状況	8
8 保管簿冊数	9
9 現用公文書の廃棄	9
10 広報事業	9
11 連携事業	10
12 駐車場貸付事業	10

# I 施設等の概要

## 1 設置目的

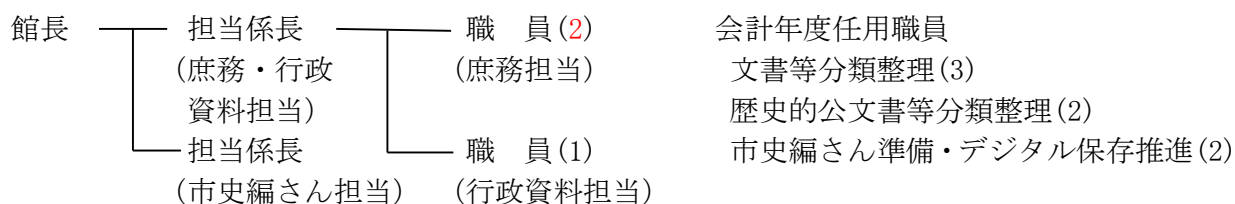
市民の生活の向上及び文化の発展に資するため、歴史的文化的価値のある公文書及び資料類を適正に保存し、かつ、有効に活用するとともに、市民生活の場に関する情報を中心とした統合的な情報公開を推進することを目的とする。

## 2 事業

- (1) 川崎市情報公開条例に基づく公文書の開示及び情報の提供に関すること。
- (2) 情報化社会に対応するための市民の研修活動の場の提供に関すること。
- (3) 公文書及び資料類の収集、整理及び保存に関すること。
- (4) 歴史的公文書等を利用に供すること。
- (5) 歴史的公文書等の調査、研究及び普及活動に関すること。
- (6) 市史に関すること。

## 3 組織

(令和7年4月1日現在)



## 4 施設

開設：昭和59年10月1日  
構造：鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建  
敷地面積：3,783.20㎡  
延床面積：2,451.38㎡ (建築面積 981.62㎡)  
書庫延床面積：1,245.60㎡ (書架総延長 11.27km)

## 5 公文書館開設経過

公文書館に求められる保存文書の利用目的（開館当初）

- ①市民の知る権利を充足させるため、常に請求に応じ開示できるよう公文書の検索と閲覧機能
- ②文書主管課から行政執行上の必要に応じ、何時でも迅速に閲覧できるように分類整理する
- ③公文書の史的価値観に基づき適切に収集、保存、管理を行う。更に保存期間経過後の文書の散逸を防ぐ

昭和55年6月 川崎市情報公開準備委員会発足

情報公開制度の検討過程で、文書管理の徹底の必要性が指摘され、文書を一元管理する公文書館構想が持ち上がる。

昭和56年3月 川崎市公文書館構想委員会設置

昭和57年6月 総務局に情報公開準備室を設置

昭和58年1月 建設着工（昭和59年3月竣工 事業費約8億4千万円）

昭和59年10月	川崎市公文書館条例施行、川崎市情報公開条例施行
昭和60年	川崎市史編纂開始
昭和61年1月	川崎市個人情報保護条例施行
平成7年	情報公開担当部門分離
平成9年	川崎市史編纂完了
平成15年	文書管理システム稼働（公文書の電子化）
平成19年	川崎市情報公開運営審議会諮問・答申（歴史的公文書について）
平成20年	川崎市公文書館条例一部改正（歴史的公文書関係規定整備）

## 6 機能

### (1) 中間書庫としての文書管理

- ア 公文書の保存期間満了前に公文書館が集中管理することにより、文書の検索機能や所在管理を強化し、情報公開や行政利用に即応する。
- イ 保存期間満了前の公文書の散逸を防止し、歴史的公文書への移行をスムーズに行う。

### (2) 歴史的公文書等の収集、保存及び情報提供

- ア 歴史を編むために必要な記録を保存し、閲覧に供する。
- イ 行政評価の材料となる市政の施策等の記録を保存し、閲覧に供する。

### (3) 歴史資料を教材とした各種講座・講演会を開催し、市民の川崎市の歴史・文化への関心を喚起する。

※館の開設当時は、情報公開制度の運営についても公文書館で行っていた。

現在は、総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部行政情報課情報公開担当が行っている。

## 7 保存文書数

① 古文書等	4,053点
② 複製古文書	3,473冊
③ 歴史的公文書	5,927簿冊
④ 歴史図書	13,111冊
⑤ 戦災資料	600点
⑥ 市政資料	23,443冊
⑦ 公文書館保存公文書	159,330簿冊
第1種文書（30年保存）	49,066簿冊
第2種文書（10年保存）	43,771簿冊
第3種文書（5年保存）	66,493簿冊

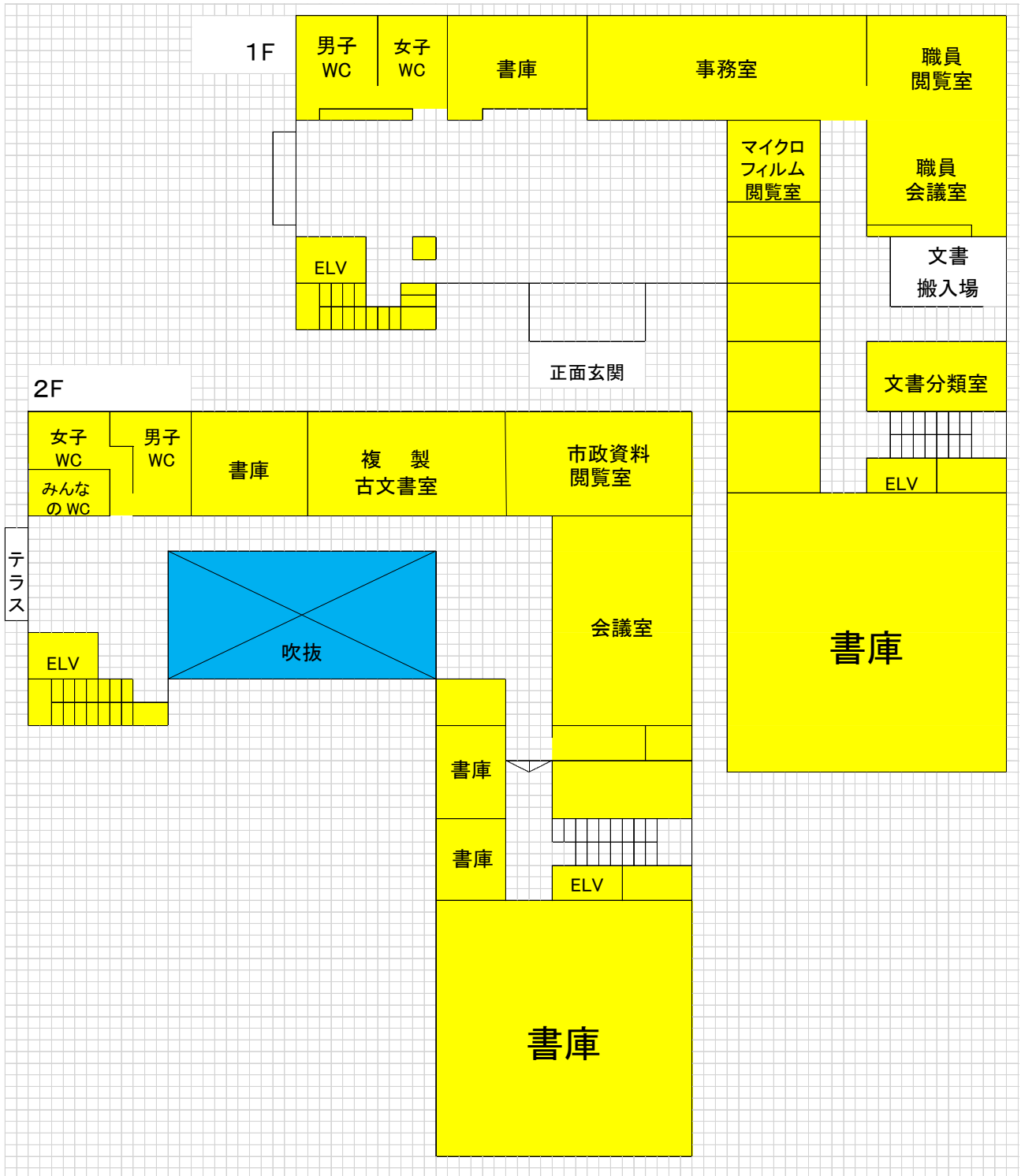
（令和7年3月31日現在）

## 8 書庫収蔵状況

(令和7年3月31日現在)

3階書庫	<ul style="list-style-type: none"><li>・第1種文書(H6～9年度、R3、4年度)</li><li>・第2種 まちづくり局宅地審査課文書</li><li>・文書保存箱(第1種、第2種)</li><li>・保存期間延長文書及び文書保存箱(第1種、第2種、第3種)</li><li>・歴史的公文書</li><li>・マイクロフィルム</li><li>・古文書</li><li>・市政資料</li></ul>
2階書庫	<ul style="list-style-type: none"><li>・第3種文書</li><li>・文書保存箱(第3種)</li></ul>
中2階書庫	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2種文書</li><li>・保存期間延長文書(第2種各市税事務所)</li></ul>
1階書庫	<ul style="list-style-type: none"><li>・第1種文書(H10年度～、下水道事務所H6～H25年度)</li><li>・文書保存箱(第1種)</li></ul>

9 平面図



## II 業務の概要

### 1 公文書館利用状況

#### (1) 年度別利用者数

年度	行政資料等 閲覧	公文書公開 情報提供等	古文書閲覧	学 習	公文書閲覧 (職員)	その他	合 計
令和元年度	154	22	42	1,312	728	1,254	3,512
令和2年度	143	18	44	940	616	964	2,725
令和3年度	148	9	92	720	604	1,116	2,689
令和4年度	182	13	121	259	691	843	2,109
令和5年度	111	29	113	327	695	1,007	2,282
令和6年度	142	11	95	75	474	1,781	2,578

(単位：人 ※公文書閲覧のみ件数) 注) 公文書公開等は、開示請求のほか情報提供請求を含む。

#### (2) 歴史的公文書閲覧、公文書開示請求、個人情報開示請求(件数)

年度	歴史的公文書等閲覧	公文書開示請求	個人情報開示請求
令和元年度	115	4	1
令和2年度	107	6	1
令和3年度	105	22	0
令和4年度	102	24	2
令和5年度	112	26	0
令和6年度	68	22	0

### 2 レファレンス利用状況

#### 令和6年度利用状況

利用月	件数	主 な 内 容
4 月	1	・『川崎市史』に掲載されている自家の資料について、その利用経緯が知りたい。
6 月	4	・長尾村の御用留に類する史料を探しているが、所蔵しているか。 ・大師家政学校校長の在任期間が知りたい。 ・『川崎市史』に記載のある関東大震災下における富士瓦斯紡績川崎工場の沖縄出身死者数について、その後情報の更新があるのか知りたい。 ・御幸支所の歴史について知りたい。
7 月	2	・江戸時代の「駕籠訴」について知りたい。 ・市立川崎病院の設立経緯が分かる史料について知りたい。
8 月	1	・「犬蔵」という地名の由来が知りたい。
11月	1	・戦時期、生田緑地など各種施設が防空目的の施設となったことが分かる根拠史料について知りたい。
12月	1	・『川崎空襲・戦災の記録』に掲載された空襲状況を伝える写真・図・表について知りたい、利用したい。

1 月	1	・公文書が横書きとする規定は何であり、いつからか。『川崎市公報』が横書きとなった根拠となる規定は何であり、いつからか知りたい。
2 月	1	・『川崎市史』掲載の地図を探しており、その利用可否について知りたい。
合 計	1 2	

### 3 歴史的公文書等収蔵状況

(令和6年3月31日現在)

#### (1) 歴史的公文書 年代別収蔵状況(冊)

市 制 施 行 前	市 制 施 行 後	合 計
1 5 7	5, 7 7 0	5, 9 2 7

注) 市制施行(大正13年7月1日)前には、施行後における市編入前の町村の文書を含む。

注) 冊数は紙文書の歴史的公文書のみ

#### (2) 歴史的公文書 種別収蔵状況(冊)

第1種文書	第2種文書	第3種文書	その他文書	合 計
3, 1 1 1	1, 3 6 1	1, 4 3 9	1 6	5, 9 2 7

注) 第1種文書(30年保存)には、旧公文書管理規則における永年保存文書を含む。

注) 第2種文書は10年保存、第3種文書は5年保存、その他文書は記録・資料等文書分類のない文書

#### (3) 歴史的公文書(市制施行前) 町村別収蔵状況(冊)

町 名	収蔵数	町 名	収蔵数	町 名	収蔵数
川 崎 町	2 1	大 師 河 原 村	5	田島村・田島町	8
御 幸 村	1 1	住 吉 村	1 4	日 吉 村	1
高 津 村	1 7	中原村・中原町	1 6	橘 村	1
宮 前 村	4	向 丘 村	1 5	生 田 村	2 9
稲 田 村	4	柿生村外1ヶ村組合	1 0	橘 樹 郡 役 所	1
				合 計	1 5 7

注) 大正12年：田島村が田島町となる。

注) 大正14年：中原村と住吉村が廃止統合され中原町が誕生

注) 大正15年：橘樹郡役所が廃止される。

#### (4) その他資料

項目	数量	単位	備 考
電子歴史的公文書	2, 8 0 2	冊	
マイクロフィルム	2, 6 5 9	巻	古文書、歴史的公文書等
ポスター	1 0 3	点	記録として保存すべきと思われるもの

## 4 歴史・文化普及事業

### (1) 古文書講座

- ア 入門古文書講座（全4回） 40名募集 応募者58名、受講者46名  
期 日 令和6年8月17日・24日・31日・10月19日（土）  
講 師 舟津悠紀（川崎市公文書館）・布川寛大（川崎市公文書館）  
会 場 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室
- イ 中級古文書講座（全4回） 40名募集 応募者29名、受講者27名  
期 日 令和6年10月5日・12日・16日・11月2日（土）  
講 師 白川部達夫氏（東洋大学名誉教授）  
会 場 川崎市生涯学習プラザ 401 会議室
- ウ 古文書講座（特別編）（全4回）12名募集 応募者16名、受講者13名  
期 日 令和7年2月15日・22日・3月1日・8日（土）  
講 師 下田悠真（川崎市公文書館）  
テーマ 「川崎市制施行の政治過程―石井泰助と小林五助―」  
会 場 川崎市公文書館

### (2) 歴史講座

- ア 第一回 歴史講座  
令和6年11月24日（日）80名募集 応募者25名、受講者22名  
演 題 「19世紀における家の「由緒」創出―武州橘樹郡長尾村山根家の場合―」  
講 師 椿田有希子氏（国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科助教）  
会 場 川崎市生涯学習プラザ 401 会議室書館
- イ 第二回 歴史講座  
令和6年12月7日（土）80名募集 応募者34名、受講者28名  
演 題 「池上幸豊の活躍―砂糖・国益・ネットワーク―」  
講 師 落合功氏（青山学院大学経済学部教授）  
会 場 高津市民館 12階大会議室

### (3) 歴史講演会

- 令和7年3月9日（日）募集100名（先着順） 受講者54名  
演 題 「川崎市の輪郭はどのようにかたちづくられたのか  
―市制施行・市域拡張と地域社会―」  
講 師 石居 人也氏（一橋大学大学院教授）  
会 場 高津市民館 12階大会議室

## 5 展示

- ① 常設展示 「川崎市公文書館 ―川崎市公文書館の役割―」
- ② 常設展示 「川崎市域の変遷 ～川崎市の成り立ちとその広がり～」
- ③ 常設展示 「公文書の変遷 ～近世から近現代まで～」
- ④ 企画展示 ―あなたに伝えたい記録と記憶 公文書館所蔵資料から―  
第17回「川崎市制100周年Ⅱ 幻の初代川崎市長～小林五助とその時代～」  
令和6年4月2日（火）から9月29日（日）まで  
第18回「川崎市公文書100年間100の足跡―史料たちの断想―」  
令和6年10月1日（火）から3月31日（月）まで

⑤ 特設コーナー

「川崎市誕生の時代を学ぼう！」

令和6年1月4日（木）から6月30日（日）

『『市史』の時代』

令和6年7月2日（火）から12月28日（土）

「『市史』の時代：市制40周年の『川崎市史』編さん事業」

令和7年1月4日（土）から6月29日（日）

⑥ 小展示

「川崎市公文書館所蔵資料から見る明治日本～仁礼景範夫妻宛て柳原前光夫妻書簡を読む」

令和6年1月4日（木）から6月30日（日）

「川崎市公文書館所蔵資料から見る江戸期の観光客

～「御小庵安国寺由来」から『熊王稲荷社略縁起』を読み解く～」

令和6年7月2日（火）から9月29日（日）

「川崎市公文書館所蔵資料から見る 井伊家譜代家臣松宮家の取立と変遷 I」

令和6年10月1日（火）から12月28日（土）

「川崎市公文書館所蔵資料から見る 井伊家譜代家臣松宮家の取立と変遷 II」

令和7年1月4日（土）から3月31日（月）（予定）

6 館外展示（場所 川崎市平和館：川崎市平和館との共催事業）

① 川崎市平和館との共催事業（場所 川崎市平和館）

「アジア・太平洋戦争期の世界・日本・川崎」

令和7年3月9日（日）から5月6日（火）まで

② ポスター・パネルギャラリー展（場所 本庁舎と第3庁舎をつなぐ地下連絡通路）

「川崎市公文書100年間100の足跡—史料たちの断想—」

令和6年12月17日（火）から6月30日（月）（予定）

7 現用公文書の引継状況（令和6年度現用公文書引継）

(1) 市長事務部局

第1回	7月12日	総務企画、財政（収納対策部）、経済労働、健康福祉、危機管理本部、市民オンブズマン、会計室
第2回	7月26日	財政（本庁分）、市民文化、まちづくり、
第3回	8月9日	環境、こども未来、建設緑政、港湾、臨海部国際戦略本部

(2) 区役所

川崎区	10月10・11日	幸区	10月2日	中原区	9月3日
高津区	9月27日	宮前区	10月4日	多摩区	9月13日
麻生区	9月20日				

(3) 他任命

上下水道局	10月29日	教育委員会	10月22日
交通局	10月22日	選挙管理委員会	9月3日・10月10日
病院局	10月25日	監査事務局	10月22日
消防局	10月25日	議会局	10月29日

## 8 公文書館保管簿冊数

公文書館保管文書は増加が続いているが、平成26年度以降、所管課から公文書館に引継がれる簿冊が急激に増加した。

	1種	2種	3種	計	前年比増減数
平成30年度末	37,717	34,950	50,660	123,327	5,391
令和元年度末	39,151	36,311	53,500	128,962	5,635
令和2年度末	40,875	37,500	55,417	133,792	4,830
令和3年度末	41,883	38,030	56,710	136,623	2,831
令和4年度末	44,246	40,067	58,439	142,752	6,129
令和5年度末 a	47,067	42,759	63,130	152,956	10,204
令和6年度廃棄文書 b	1,346	4,429	15,570	21,345	
令和6年度引継文書 c	3,345	5,441	18,933	27,719	
令和6年度末 d=a+b+c	49,066	43,771	66,493	159,330	
前年度比増減数 d-a	1,999	1,012	3,363	6,374	6,374

## 9 現用公文書の廃棄

### (1) 廃棄業務日程 (単位:kg)

実施日		廃棄量
第1回	6月19日	14,890
第2回	7月5日	18,860
第3回	12月4日	13,750
計		47,500 (21,345簿冊、1,325箱)

### (2) 廃棄量の推移 (単位:kg)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
57,760	39,990	42,970	48,070	47,500

## 10 広報事業

### (1) 公文書館ホームページ

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/288-3-4-0-0-0-0-0-0-0.html>

- ・公文書館について、公文書館リンク集、公文書館関連規定、出版物、利用案内、展示案内、所蔵文書、講座案内、川崎市史（市制100周年記念版）

### (2) 見学

なし

## 1 1 連携事業

- (1) インターンシップ  
令和6年9月3日(火)～9月7日(土)まで(実日数5日)  
大学生2名(獨協大学、関東学院大学)  
概要説明、古文書解読実習、配架実習、関連施設見学など
- (2) 体験学習・職業体験  
令和6年6月18日(火)  
宮内中学校(生徒4名)  
概要説明、ミニ歴史・古文書講座、資料整理、パンフレット配架、目録作成など
- 令和6年11月20日(水)  
西中原中学校(生徒4名)  
概要説明、ミニ歴史・古文書講座、資料整理、パンフレット配架、目録作成など

## 1 2 市史編さん事業

- (1) 目的
- ・川崎市制100周年を記念して、川崎市を「知って、関わって、好きになってもらう」ことを目指し、令和6年度から令和8年度末にかけて、新しいかたちの川崎市史(川崎の歴史の本)を制作する。
  - ・親しみやすく、手に取りやすいものとする。
  - ・川崎市の歴史や文化を知ってもらい次世代につなげるものとする。
  - ・市民に制作プロセスへ関わってもらう。
- (2) ターゲット
- ・幅広い世代に読んでもらえる内容とする。
  - ・若い世代・子育て世代をメインターゲットとする。
  - ・小学生から高校生が読むこともできるよう配慮する。
- (3) コンセプト
- ア 分かりやすく・伝わるもの
- ・写真・イラストなどを効果的に組み合わせた紙面
  - ・子どもが読んでも難しすぎず、大人にも読みごたえのある内容
  - ・知りたい、知ってもらいたいテーマや時代を中心に掲載
- イ 制作プロセスの重視
- ・掲載テーマなどの選定過程でワークショップやアンケートなどを通じ市民意見を反映
  - ・さまざまな経験・知見を持つ方の意見を取り込む編集懇談会を開催
- ウ デジタルの活用
- ・デジタル版で制作(冊子版も制作)
  - ・制作過程の見える化・情報発信(SNS等の活用)
- (4) 発行のかたち
- 書名 未定(今後、市民意見を踏まえ決定予定)
- 形態 デジタル版を基本とし、冊子版も発行予定

仕様 A5判・横書き・約200ページ、オールカラー

(5) 市民の関わる機会（令和6年度実績）

ア アンケート（全6日間）

期 日 令和6年11月2日／3日／9日・10日・16日・17日

会 場 Colors, Future! Summit、みんなの川崎祭、全国都市緑化かわさきフェア

方 法 パネルへのシール貼りとWebフォームでアンケートを実施

結 果 パネル形式は2,638件の回答、Webフォーム形式434件の回答  
アンケートの結果を踏まえ構成案に反映

イ ワークショップ（全3回） 15名募集 応募者18名、参加者13～15名

期 日 令和7年1月25日・2月1日・2月8日

会 場 川崎市産業振興会館、川崎市総合自治会館、新百合21ホールの各会議室

議 題 川崎市のイメージ、本のキャッチコピー、テーマ史の企画

結 果 参加者からの様々なアイデアをもとに構成案の各テーマに反映

ウ 編集懇談会（全3回） 編集懇談会委員（15名）は別紙の一覧のとおり

・第1回

期 日 令和6年10月31日

会 場 川崎市総合自治会館会議室

議 題 記念市史の読者層／各読者にどのような話題を提供するか

・第2回

期 日 令和6年12月26日

会 場 川崎市総合自治会館会議室

議 題 構成案について（1）／年表案について

・第3回

期 日 令和7年3月6日

会 場 川崎市役所本庁舎会議室

議 題 構成案について（2）／情報発信について

### 13 駐車場貸付事業

(1) 目的

市有財産の有効活用による財源確保と適正な駐車場利用を目的とする。

なお、公文書館利用者に限り、入庫から60分までは駐車料金を免除する。

(2) 借受者の選定方法

プロポーザル方式による借受者の公募により選定

## 川崎市史市制 100 周年記念版編集懇談会委員

氏名	フリガナ	所属等
阿久津 麻実	アクツ アサミ	mama-on! 事務局
大城 英理子	オオキ エリコ	こどものまちミニカワサキ実行委員会 代表
大島 哲也	オオシマ テツヤ	川崎商工会議所 企画広報部担当部長
落合 功	オチアイ コウ	青山学院大学 経済学部教授
嶋田 正邦	シマダ マサクニ	かわさきドリームミュージカル実行委員会 代表
鈴木 ひでちか	スズキ ヒデチカ	一般社団法人日本だじゃれ活用協会 代表理事
鈴木 勇一郎	スズキ ユウイチロウ	川崎市市民ミュージアム 学芸員
反町 充宏	ソリマチ ミツヒロ	一般社団法人川崎市商店街連合会 理事・青年部長
高田 ユリ	タカダ ユリ	富士通株式会社 総務本部エリアマネジメント統括部長
竹内 元浩	タケウチ モトヒロ	川崎市政策評価審査委員会 委員
中村 ふみよ	ナカムラ フミヨ	かわさきママのわ 事務局
にしにし家	ニシニシケ	多摩区PRアンバサダー
羽賀 優希	ハガ ユウキ	川崎ワカモノ Lab
福森 義之	フクモリ ヨシユキ	公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課 事業推進係長
望月 一樹	モチヅキ カズキ	神奈川県立歴史博物館 館長